

平成26年(2014年)9月29日 <No-13>

長野県松本家畜保健衛生所
〒390-0851 松本市島内西川原 6931
TEL:0263-47-3223 FAX:0263-47-0101
E-mail:matsukachiku@pref.nagano.lg.jp
中信家畜畜産物衛生指導協会
TEL:0263-47-6789

かほだより

御嶽山、有史以来4度目の噴火

家畜・飼料作物等への影響は……

平成26年9月27日午前11時53分ごろ、木曾郡王滝村と岐阜県境にある御嶽山が噴火しました。秋晴れとなった紅葉シーズンの週末で、火山灰などが多くの登山客を襲いました。

被災された皆様には、心からお見舞い申し上げます。

また、放牧牛への影響、畑に置いてあった飼料作物の家畜への給与の是非等畜産農家の心配も尽きません。28日、松本家保と木曾農業普及センターで王滝村、木曾町三岳・開田地区、木祖村の牧場、畜産農家を巡回し、降灰の状況等を確認させていただきましたので、今回の広報では、この巡回結果に基づき降灰の家畜への影響について紹介いたします。

◇◇放牧牛への影響◇◇

木曾町の全農長野三岳牧場、御嶽明神牧場では、それぞれ50頭ほどの牛が放牧されていますが、牧草への降灰の付着はごくわずかで、採食しても放牧牛への影響はないと考えられます。なお、放牧時期も終わりに近づいており、近々に下牧を迎える予定です。

◇◇降灰をうけた飼料作物の家畜への給与◇◇

巡回地域では、牧草、デントコーン等の飼料作物が栽培されておりますが、いずれも降灰付着の状況はごくわずかで、家畜への影響はないものと考えられますが、できるだけ、払ったり、叩いたりして徐灰してから給与してください。特に硫黄分の多い火山灰の場合では十分に注意してください。

なお、野外で貯蔵している牧草、稲わら等については、ビニールシート等で覆い、降灰による汚染を防止してください。

◇◇その他の注意事項等◇◇

- 降灰で汚染された河川の水は、原則として飲ませないでください。
- 馬では、腸が痙攣(腹痛)を起こしやすい構造になっており、少量の灰でも影響が出る可能性がありますので、注意が必要です。
- 今後、降灰が長期化し、灰が付着した飼料を長期間に渡り給与することになると、家畜への影響が出る可能性もありますので、注意しておいてください。
- 北海道有珠山の噴火に際し、北海道農試等が実施した試験では、「乳牛に火山灰を1日1kg30日間採食させても、飼料採食量、乳量の減少以外の障害は認められなかった」との結果が出ています。この結果だけで、直ちに火山灰を採食させても安全であるとは言えませんが、牛の場合、過剰に心配する必要はありません。
- 降灰量が増加すると、土壌のpH等に影響を及ぼし、来年の採草等に支障が生ずる場合があるため、あらかじめ土壌診断を行い、必要に応じ土壌改良を実施してください。(土壌診断については最寄りの農業改良普及センターにご相談ください。)